

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そらいろ			
○保護者評価実施期間	R 7年 4月 1日 ~			R 7年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 名	(回答者数)	3 名
○従業者評価実施期間	R 7年 4月 1日 ~			R 7年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 名	(回答者数)	8 名
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年 5月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部講師による充実した支援	専門講師によるプログラミング教室、体操教室を1週間に各一回ずつ行っております。	活動が固定化されないように定期的に、内容の見直しのためのミーティングを行い、常に発達に応じた支援が提供できるよう取り組んでいます。
2	幅広い活動内容と季節行事	発達課題に応じた集団・個別支援では楽しみながら取り組めるよう支援しています。またお祭りなど季節に合わせたイベントも行っており長期学休期間には、通常支援に加え創作活動、調理、工場見学、屋外遊びなど幅広い活動を行っています。	利用児童の状況に応じた療育が提供できるよう日々職員間で話し合い事業所全体で対応し、利用児童の特性をきちんと把握しながら療育していきます。
3	利用児、保護者のニーズに合わせた支援	保護者の要望と本人の興味関心のある事を織り交ぜながら、目標に向かって成長していくように支援内容・課題・教材などを工夫している。毎日のミーティングや支援スキル向上のための勉強会を定期的に実施しています。	今後も利用児童、保護者の様子の変化を見逃さないよう心がける。不安や悩みなどについては対応職員だけでなく全職員がフォローし合いながら問題解決につながるよう務める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設構造上の課題	活動スペースが狭いため、活動内容によっては、子どもたちが自由な遊びができない。	空間を生かした配置・活動場所の工夫や来所する利用児に合わせた余暇活動を提供していきます。
2	災害時等の防災対策の周知	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っており、訓練も行っているが保護者への情報が伝わりにくいためいろいろな情報発信方法を考える必要があります。	連絡ノート、個人情報に配慮したウェブ掲載など行っているが日ごろから保護者に見てもらえるよう発信します。
3	保護者参加型の家族支援	利用者プライバシー保護等の事情により、保護者会などといった保護者や家族の交流機会が実施されておらず、一部利用者様から子育ての悩みや困りごとを共有する場の要望が寄せられています。	茶話会などのイベントを通して、保護者・家族同時の情報共有機会の提供を検討しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	そらいろ		公表日	R7年 4月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	-	療育スペースは利用定員に対して十分な広さとなっています。	引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>	-	指定基準に則り、適正な配置となっています。	-
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>	-	室内の段差解消措置はとっています。	引き続き、わかりやすく、過ごしやすい環境となるよう配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>	-	ご利用者の皆様がいつも快適に過ごせるよう、日頃から整理・整頓、清掃を徹底しております	-
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>	-	本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室で対応しています。	引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>	-	PDCAサイクルを心掛け、日々職員ミーティングにおいて現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。	引き続き、PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	-	定期的に利用者アンケートを実施し、結果をHPにて公表するほか、日々の業務改善に活かしております。	-
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	-	職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	引き続き、意見の出しやすい仕組みづくりと風土を築くことで職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	-	<input type="radio"/>	現在は利用者と社内の評価のみとなっております。実習生の受け入れ、関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	第3者評価の実施につきましては今後の検討課題としてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>	-	外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。	引き続き職員の資質向上に努めます。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>	-	法令・ガイドラインに則り、適切に支援プログラムが作成されており、その内容は事業所HPで公開しております	-
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>	-	日々の支援や保護者の方、相談支援員等の情報なども含めてニーズや課題を分析し計画作成を行っています。	引き続き包括的な支援と具体的なプログラムの作成に努めます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>	-	支援計画作成の際は、利用児本人にとって最善の支援を提供できるよう、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で支援方法・内容に関する個別支援計画検討会議を行っております。	日々の支援の中でも共通理解を深めることでさらなる利用者への支援の改善をめざしています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>	-	支援計画は支援会議にて、各職員に周知され計画に則った支援が行われています。	-
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>	-	利用児の発達評価については、日常の行動観察のほか、外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。	-
適切な支援の提	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	-	支援計画はガイドラインに定められた各項目に沿って適切に作成され、具体的な支援内容に反映されております。	引き続きお子さんの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	-	職員同士の積極的な意見交流を通して、各児童に適した活動プログラムの立案・運用を常に行っております	引き続きプログラムの方向性、ねらいや開拓方を確認する場を設定し、多角的な視点を持ってプログラムを立案するよう努めてまいります。

供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	-	定期的に活動プログラムを見直し、個々の発達状況の変化に応じた支援を行なうよう心がけております。回数を重ねることで獲得することを目的とする場合、意図的に継続してプログラムに入れることもあります。	引き続きお子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの立案に努めます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	-	個々の個性・特性を充分に把握し、支援計画に沿った個別・集団活動を実施しております。	引き続き個々のニーズと集団におけるニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	-	支援開始前に全職員で打ち合わせを行い、日案の周知・確認を行っております。	-
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	-	業務終了後、もしくは翌勤務時に振り返りを行つており、伝達事項の全職員への周知徹底に努めています。	-
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	-	支援経過表、各種記録帳票の適正な記録・運用を徹底し支援計画見直しに活用し、次回のステップアップにつなげていきます。	-
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	-	概ね6ヶ月に1度、見直しを行っています。	-
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	-	担当者会議には必ず児童発達支援管理責任者が参加しております。	-
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	-	各種関係機関とは保護者承諾のうえ、積極的な情報交換を行っており、包括的で円滑な支援を提供できるよう体制となっています。	-
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	-	必要に応じて、併行利用や移行支援が提供できるよう、各関係機関との連携に努めています。	-
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	-	保護者様の同意を得たうえで各関係機関との情報共有に努めています。	-
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	-	地域の児童発達支援センターとは必要に応じて相談や助言を受けられるよう、円滑な連携体制が整備されております。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	-	<input type="radio"/>	-	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、地域における障害のない他児との交流は未実施ですが、今後は利用児や保護者の意向を尊重しながら地域イベントへの参加等、交流機会の確保に努めています。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	-	保護者様とは連絡ツール（LINE）や送迎対応等で常にお子様の様子について情報を共有しており、子どもの課題や悩みについて協力して取り組めるよう努めています。	-
児童発達支援計画	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	-	ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムについては、関係機関が主催する各種研修等の情報提供を随時行っています。	一部保護者様から研修への参加を希望する意見が寄せられていたため、より一層の情報周知に努めたい。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	-	見学や契約の際に重要事項とあわせ全て説明し、疑問点や不安な事柄についても、極力丁寧な説明を行うよう心がけております。	-
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	-	児童発達支援計画を作成にあたっては、本人・保護者の意向を十分に確認のうえ、利用者主体とした立案を心掛けております	-

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	-	支援にあたっては、必ず「児童発達支援計画により支援内容の説明を行い、保護者様から承諾を頂いています	-
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	-	利用児ご家族が抱える悩み事については、支援計画更新時面談のほか、随時相談を受け付けており、適切な助言や支援を行えるよう体制を整備しております	-
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	-	<input type="radio"/>	-	利用児・保護者のプライバシー保護等の事情から現在 保護者会等は未実施ですが、今後前向きに検討してまいります
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	-	契約時に相談・申入れに関する対応窓口等を説明するとともに、適正かつ迅速な対応がとれるよう体制を整備しております	-
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	-	LINEなどの活用による連絡体制の整備をしているほか、活動内容等はHPで積極的に発信しております	-
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	-	個人情報の取り扱い指針を定め、個人情報の流出や不正な取り扱いの防止に努めております	-
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	-	意思疎通や情報伝達に特段の配慮が求められる場合には、電話（音声）、お便り・WEB連絡（文章）など複数の伝達方法と、確認の多段化などといった対応を行っています	-
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	-	<input type="radio"/>	-	事業所行事への地域住民招待等は現在未実施ですが、今後は利用者プライバシーにも配慮しながら前向きに検討を進めてまいります
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	-	各種マニュアルを完備し、職員・その家族への周知、保護者様への注意喚起に努めています。またガイドラインに則り定期的に訓練を実施しております。	-
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	-	業務継続計画を策定し、定期的に必要な訓練を行っています。	様々なことを想定した訓練を検討し実施して いきます。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	-	ご利用にあたり個人調査票にて現在の健康状態、服薬・予防接種等確認させて頂いております。	引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	-	ご利用にあたり個人調査票にて食物アレルギーのほか飲食に関するし好、留意点等を確認させて頂いております。	指示書がある場合は職員間での周知を図ります。より良い周知方法を検討していきます。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	-	安全計画を作成し、ガイドライン則り必要な措置を講じており、支援にあたっては安全管理に十分な配慮を行っています。	引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	-	ご利用にあたり個人調査票にて緊急連絡先を確認するほか、事故・災害等発生時の対応について説明しております。	-
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	-	事例集・報告書を作成し、職員への周知・注意喚起に努めています	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	-	虐待防止委員会を設置し、定期的な研修の実施、虐待防止体制の整備を行い、職員の意識向上に努めています	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	-	身体拘束適正化委員会を設置し、事案発生時の対応指針を定め、職員への周知徹底を行っています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行ふとともに身体拘束の適正化に努めます。